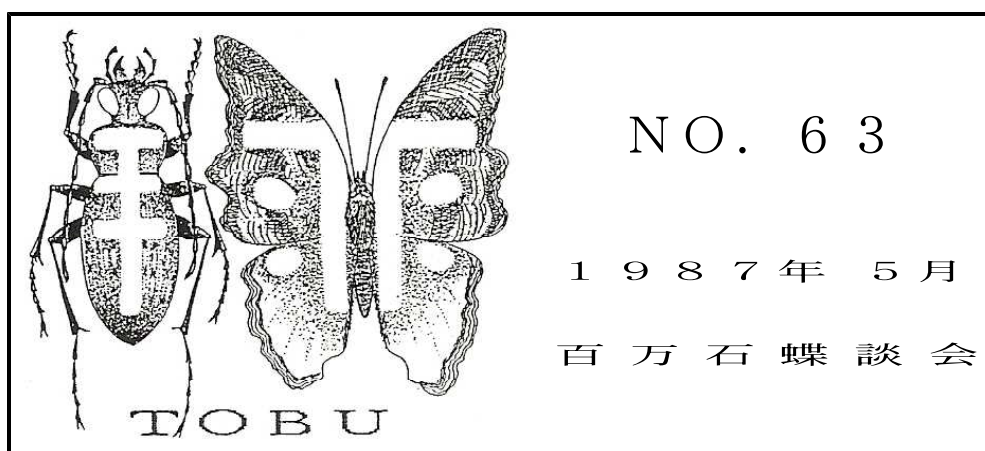




石川県のCATOCALA

嗟峨井淳郎

石川県には、現在のところ20種のCatocala（オオシロシタバ・ムラサキシタバ・エゾベニシタバ・ベニシタバ・シロシタバ・オニベニシタバ・コシロシタバ・マメキシタバ・エゾシロシタバ・アサマキシタバ・ゴマシオキシタバ・ヨシノキシタバ・アミメキシタバ・キシタバ・コガタキシタバ・ワモンキシタバ・ミヤマキシタバ・ジョナスキシタバ・ナマリキシタバ・ノコメキシタバ）を産することが知られている。これらの大半は、石川県蛾界の先駆者たる小坂巖、富沢章両氏等の御尽力によるところが大きい。

近年、「昆虫と自然」や「月刊むし」にみられるように、アズミキシタバ・ナマリキシタバ・ミヤマキシタバ・フシキキシタバと次々に食樹が解明されたことにより、最稀種・稀種といわれていたこれらの種が全国各地で次々に発見された。食樹・食草の解明がいかに重要であるかは、今更申すまでもない。

当蝶談会においてもここ数年を振り返ってみると、蛾を採集する人が次々に出現し、競争心を煽ることしきりであるが、更にCatocalaに憧れんとする方々が出現するのを期待するためにも、筆者らの所持するデータを発表・報告することとしたい。

公表したデータが少しでも参考になれば幸いである。この報告には既に本会々誌「翔」上に記録発表済みのデータも含まれているが、それらについては採集者名の次に*印を付した。それらの掲載されている文献については、巻末にまとめて参考文献として載せたので参考にされたい。本報告はあくまで百万石蝶談会会員が所有するデータのみを扱ったもので、石川県産全てのカトカラについて網羅したものではないことを付け加えておく。

なお、本稿を草するにあたり、野中勝氏、金子二久氏、吉村久貴氏の3氏よりデータ提供の賛助協力を得た。深く謝意を表したい。

1. オオシロシタバ *Catocala lara* BREMER

石川県では比較的稀種に属する。我々の経験からライトトラップを重ねても、年に1～2頭ぐらいしか得られていない。まして、苦勞して得られたものは殆ど汚損・破損がひどく、かろうじて同定が可能な状態にある。食樹はシナノキ。

白峰村市瀬:4♂♂ 5-IX-1981(野中), 1♂ 16-IX-1984(金子), 2♀♀ 26-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 15-IX-1982(嵯峨井):白峰村釈迦林道:1♂ 27-VIII-1983(嵯峨井):尾口村岩間:1♂ 14-VIII-1982(野中), 1♀ 20-VIII-1983(野中), 1♂ 20-VIII-1983(嵯峨井)

2. ムラサキシタバ *Catocala fraxini* LINNAEUS

世界に産するカトカラの最大美麗種。一般に少ないとされているが、石川県では比較的多産するものと思われる。種々の文献では一晩に数頭採集できれば良いほうとあるが、1982年9月白峰村市瀬の上方にて10数頭灯火に飛来したことがある。食樹はドロノキ・ヤマナラシ・ポプラ。

金沢市医王山:1♂ 7-VIII-1980(野中*1):白峰村市瀬:1♂ 5-IX-1981(野中), 1♂ 14-IX-1981(金子), 3♂♂ 19-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 2♀♀ 23-IX-1981(金子), 1♀ 24-IX-1981(野中), 2♂♂ 25-IX-1981(嵯峨井), 4♂♂1♀ 26-IX-1981(嵯峨井), 5♂♂1♀ 26-IX-1981(野中), 1♂ 4-X-1981(嵯峨井), 2♂♂ 16-IX-1982(嵯峨井), 1♂ 22-IX-1982(嵯峨井):白峰村白峰村:1♀ 2-X-1981(嵯峨井), 1♀ 15-IX-1982(嵯峨井):吉野谷村中宮:1♀ 3-X-1981(嵯峨井)

3. エゾベニシタバ *Catocala nupta* LINNA

石川県産としては、比較的稀な部類にはいる。食樹はヤマナラシ・ドロノキ・ポプラと言われる。いまのところ成虫は白峰村にて数例の記録があるのみである。

白峰村市瀬:2♂♂ 5-IX-1981(野中), 1♂ 18-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 15-IX-1982(嵯峨井), 1♀ 16-IX-1984(金子):白峰村白峰:1♂1♀ 15-IX-1982(嵯峨井), 1ex 18-IX-1982(吉村)

4. ベニシタバ *Catocala electa* DORKHAUSEN

ベニシタバ3種類のうちの最美麗種(私見)。前翅は淡い灰色で後翅は紅色を呈する。種々のキシタバや他の蛾類の傷みが激しくなった頃よりその優美な姿を見せる。8月～9月に発生し、成虫数も決して少なくない。吉野谷村・尾口村・白峰村等で普通に得られる。食樹はヤナギ科。

白峰村市瀬:1♂ 8-VIII-1980(野中*1), 1♂ 29-VIII-1981(金子), 5♂♂1♀ 5-IX-1981(野中), 1♂ 5-IX-1981(金子), 1♀ 13-IX-1981(野中)1♂ 13-IX-1981(嵯峨井), 3♂♂2♀♀ 18-IX-1981(嵯峨井), 1♂1♀ 18-IX-1981(金子), 1♀ 19-IX-

1981(嵯峨井), 1♂6♀♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 22-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 23-IX-1981(金子), 1♀ 26-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 6-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 29-VIII-1982(野中), 1♂1♀ 29-VIII-1982(嵯峨井), 1ex 18-IX-1982(吉村*5), 1ex 1-IX-1983(吉村*8): 白峰村釈迦道: 1♂ 23-VIII-1981(野中), 1♂1♀ 5-IX-1982(嵯峨井): 白峰村白峰: 1♀ 8-X-1981(嵯峨井), 1♀ 13-IX-1982(嵯峨井), 1♂ 15-IX-1982(嵯峨井): 尾口村目附谷: 1♂ 28-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 22-IX-1982(嵯峨井), 1♀ 20-VIII-1983(嵯峨井): 尾口村岩間: 1♂ 15-IX-1982(嵯峨井), 1♀ 22-IX-1982(嵯峨井)

5. シロシタバ *Catocala nivea* BUTLER

オオシロシタバより大型で和名は入れ替える必要があるくらいである。前翅は幾分紅色がかった灰色、後翅は白地に太い褐色帯があり、同定は容易で多種とは混同しない。成虫は県内各地で7～9月にかけて得られる。食樹はウワミズザクラ。

金沢市犀川ダム: 2♂♂ 2-VIII-1980(野中*1): 金沢市医王山: 1♀ 5-VIII-1980(野中*1), 1♂ 7-VIII-1980(野中*1), 1♀ 24-VII-1981(金子), 2♀♀ 31-VII-1981(野中), 2♂♂ 29-VIII-1981(嵯峨井), 1♀ 30-VIII-1981(金子): 金沢市俵: 1♀ 4-VIII-1982(嵯峨井): 白峰村市瀬: 1ex 8-VIII-1980(野中*1), 1♂1♀ 14-IX-1981(金子), 1♀ 18-IX-1981(嵯峨井), 1♂1♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 22-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 23-IX-1981(金子), 1♂ 25-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 5-IX-1982(嵯峨井): 白峰村白峰: 1♂1♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 2♂♂1♀ 25-IX-1981(嵯峨井), 2♀♀ 2-X-1981(嵯峨井), 7exs 18-IX-1982(吉村*5): 白峰村桑島: 1♀ 25-IX-1981(嵯峨井): 白峰村岩間: 1♂ 22-VIII-1983(嵯峨井)

6. オニベニシタバ *Catocala dula* BREMER

後翅の赤色がまことに鮮やかで、赤鬼の顔がイメージに浮かぶことからこの和名が付けられたものであろうか。前翅には白色鱗粉が顕著に現れるものから、暗褐色のものまでその変化は様々である。発生は7月上旬～8月。県内では金沢市・津幡町・白峰村・吉野谷村・尾口村等で得られる。食樹はミズナラ・コナラ・クヌギ。

金沢市医王山: 2♀♀ 5-VIII-1980(野中*1), 1♀ 10-VIII-1980(野中*1), 1♂ 12-VIII-1980(野中*1), 1♀ 14-VII-1981(金子), 2♂♂ 15-VII-1981(野中), 1♀ 18-VII-1981(野中), 10♂♂8♀♀ 15-VII-1981(嵯峨井), 7♂♂3♀♀ 14-VII-1981(嵯峨井), 1♂ 18-VII-1981(嵯峨井), 1♀ 23-VII-1981(嵯峨井), 1♂1♀ 15-VII-1981(嵯峨井), 2♂♂1♀ 17-VII-1982(嵯峨井): 金沢市窪: 1♀ 17-VII-1982(嵯峨井): 金沢市俵: 1♀ 4-VIII-1982(嵯峨井): 津幡町俱利伽羅: 1♀ 13-VII-1982(金子), 1♀ 17-VII-1982(嵯峨井): 津幡町大坪: 3exs 4-VIII-1983(吉村*7), 1ex 6-VIII-1983(吉村*7): 白峰村市瀬: 1♂ 4-VIII-1980(野中), 2♀♀ 26-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 27-IX-1981

(嵯峨井), 1♂ 15-IX-1982(嵯峨井): 白峰村白峰: 1♂ 22-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 2♀ 7-VIII-1982(嵯峨井), 1ex 3-VIII-1983(吉村*5): 吉野谷村中宮: 1♀ 22-VIII-1982(金子), 1♂ 18-IX-1982(金子): 尾口村岩間: 1♂1♀ 14-VIII-1982(嵯峨井)

7. コシロシタバ *Catocala actaea* FELDER & ROGENHOFER

黒地に白帯のあるその姿は渋く清楚で、新鮮な成虫はエゾシロシタバに勝るとも劣らぬくらい優美である。蛍光灯などによるナイトーにはほとんど飛来せず、成虫採集は低山地帯のアベマキ・コナラなどの樹液を巡回すると効果がある。食樹はクヌギ。金沢市・津幡町等で普通に得られる。

金沢市医王山: 2♂♂ 20-IX-1979(野中), 1♂ 7-VIII-19870(野中*1), 1♂ 10-VIII-1980(野中*1), 1♀ 20-VII-1981(野中), 1♀ 24-VII-1981(金子), 1♂ 23-VII-1981(野中), 2♂♂3♀♀ 29-VIII-1981(嵯峨井), 1♂1♀ 5-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 24-VII-1982(金子): 金沢市戸室新保: 1♂ 5-IX-1981(嵯峨井): 金沢市四十万: 1♀ 28-IX-1981(嵯峨井): 津幡町大坪: 1ex 4-VIII-1983(吉村*7), 1ex 6-VIII-1983(吉村*7)

8. マメキシタバ *Catocala duplicate* BUTLER

本種も筆者の経験では灯火採集より、樹液巡回のほうが採集効率が高いように思われる。成虫は金沢市・吉野谷村・尾口村・白峰村等で得られている。食樹はミズナラ・コナラ・クヌギ・アベマキ等といわれる。

金沢市医王山: 1♂ 12-VIII-1980(野中*1), 1♂ 19-VIII-1980(野中*1), 1♂ 10-VII-1981(野中), 1♀ 15-VII-1981(野中), 2♂♂ 18-VII-1981(野中), 1♂ 20-VII-1981(野中), 1♂ 24-VII-1981(金子), 1♂3♀♀ 29-VIII-1981(嵯峨井), 1♂ 5-IX-1981(嵯峨井), 2♂♂3♀♀ 12-VII-1982(嵯峨井), 1♂1♀ 13-VII-1982(嵯峨井), 3♂♂3♀♀ 12-VII-1982(嵯峨井), 1♂1♀ 13-VII-1982(嵯峨井), 3♂♂3♀♀ 15-VII-1982(嵯峨井): 尾口村岩間: 1♂ 14-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 28-VII-1984(嵯峨井), 1♀ 1-VIII-1984(嵯峨井), 1♂ 31-VIII-1984(嵯峨井): 吉野谷村中宮: 1♀ 22-VIII-1982(金子), 2♂♂1♀ 18-IX-1982(金子): 津幡町俱利伽羅: 1♂ 9-VII-1983(嵯峨井): 津幡町大坪: 3exs 4-VIII-1983(吉村*7), 2exs 6-VIII-1983(吉村*7)

9. エゾシロシタバ *Catocala dissimilis* BREMER

小型のカトカラで、石川県内では6月末より姿を現す。ときには2化もありうるのではと錯覚するほど遅い時期(9月)にも、新鮮な個体が採集されることがしばしばある。食樹はミズナラ。金沢市・白峰村・吉野谷村・尾口村等で普通に得られる。

金沢市医王山: 1♂ 20-VII-1980(野中*1), 1♂1♀ 20-VII-1981(野中), 1♂ 24-VII-1981(金子), 4♂♂ 29-VIII-1981(嵯峨井), 1♂ 12-VII-1982(金子), 1♂ 11-VII-(金子), 1♂ 13-VII-1982(嵯峨井), 1♂1♀ 10-VII-1983(嵯峨井): 津幡町俱利伽羅: 1♂ 10-VII-1983(野中): 白峰村市瀬: 1♀ 8-VIII-1980(野中), 1♂1♀ 6-VIII-1982

(嵯峨井), 1♀ 7-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 16-IX-1984(金子): 白峰村釈迦林道: 1♂ 1♀ 30-VIII-1981(嵯峨井): 白峰村白峰: 2♂♂1♀ 30-VIII-1982(嵯峨井), 1♂2♀♀ 6-VIII-1982(嵯峨井), 1ex 3-IX-1982(吉村*5): 尾口村岩間: 1♂ 14-VIII-1982(野中), 3♀♀ 21-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 30-VII-1983(嵯峨井): 吉野谷村中宮: 2♂♂ 6♀♀ 22-VIII-1982(金子), 1♂ 16-IX-1984(金子)

10. アサマキシタバ *Catocala streckeri* STAUDINGER

本種は日本産カトカラ29種のうち、一番早くにその姿を見せる。黄色系のカトカラの中で比較的小型の部類に属し、色調は黒褐色味が強く他のキシタバに比較して派手さはない。成虫を得るには灯火採集よりも、クヌギ・アベマキ等の樹液を巡回したほうが効率が良い。発生は6月上～中旬。金沢市・尾口村・小松市で得られているが、致密に精査すればまだまだ産地が発見されよう。食樹はクヌギ・ミズナラ・コナラ等とされている。

金沢市医王山: 1♂1♀ 28-V-1982(野中*3), 3♂♂ 29-V-1982(金子), 3♂♂1♀ 4-VI-1982(金子), 1♂1♀ 4-VI-1982(嵯峨井), 1♂ 6-VI-1982(金子), 1♀ 7-VI-1982(嵯峨井), 2♀♀ 11-VI-1982(嵯峨井), 1♀ 6-VII-1982(金子), 2♂♂5♀♀ 15-V-1983(野中), 1♂1♀ 10-VI-1983(野中), 2♀♀ 7-VI-1983(嵯峨井): 金沢市俵: 2♀♀ 11-VI-1982(嵯峨井): 津幡町倶利伽羅: 1♂ 9-VII-1983(嵯峨井): 尾口村岩間: 1♀ 23-VI-1984(嵯峨井), 尾口村瀬戸野: 1♀ 29-VI-1984(嵯峨井)

11. ゴマシオキシタバ *Catocala nubila* BUTLER

ブナ食のカトカラの一種。8月にブナ帯めがけてナイターを仕掛けると、多数の本種が飛来する。飛翔距離はかなり長いものとみられ、人里近くの街灯周辺に静止しているものがよくみられ、強風でナイターに不向きな晩にもよく飛来する。本種の異常形質なものとしては黒化型・白化型・白斑型など多型が記録されているが、この変異はいずれの発生地にも良く見られ、これらの報告類も多数発表されている。金沢市・尾口村・吉野谷村・白峰村等で成虫が得られている。

金沢市末: 1♀ 12-IX-1979(金子): 金沢市医王山: 1♀ 7-VIII-1980(野中*1), 1♀ 26-VII-1981(野中), 1♂ 13-VIII-1981(野中), 1♀ 18-VIII-1981(野中), 1♂1♀ 23-VIII-1981(野中), 5♀♀ 5-IX-1981(野中), 1♂1♀ 14-IX-1981(金子), 2♀♀ 18-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 19-IX-1981(金子), 1♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 3♀♀ 19-VIII-1981(嵯峨井), 1♀ 25-IX-1981(嵯峨井), 2♀♀ 3-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 7-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 31-VIII-1982(嵯峨井), 3exs 3-IX-1982(吉村*5), 4exs 18-IX-1982(吉村*5), 3 exs 1-IX-1983(吉村*8): 白峰村市瀬: 6exs 8-VIII-1980(野中*1): 白峰村釈迦林道: 3♂♂ 30-VIII-1981(松井正人), 3♀♀ 5-IX-1981(松井正人), 3♀♀ 5-IX-1981(嵯峨井), 7♀♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♂2♀♀ 22-VIII-1982(嵯峨井), 1♂2♀♀ 13-IX-1982(嵯峨井), 1♀ 27-VIII-1983(嵯峨井): 白峰村白

峰:3♂♂1♀ 22-VIII-1982(嵯峨井), 3exs 3-IX-1982(吉村*5), 3 exs 18-IX-1982(吉村*5):尾口村尾添:2♀♀ 22-VIII-1982(嵯峨井):尾口村目附谷:2♀♀ 5-VIII-1983(金子), 1♀ 27-VIII-1983(金子):尾口村岩間:3♂♂5♀♀ 14-VIII-1982(嵯峨井), 3♂♂5♀♀ 21-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 29-VII-1983(嵯峨井), 1♀ 12-VIII-1983(嵯峨井), 1♀ 7-VIII-1984(嵯峨井), 1♀ 17-VIII-1984(嵯峨井), 1♂1♀ 18-VIII-1984(嵯峨井), 1♀ 1-IX-1984(嵯峨井):吉野谷村中宮:1♀ 22-VIII-1982(金子), 1♀ 24-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 10-IX-1982(金子), 3♂♂3♀♀ 18-IX-1982(金子)

12. ヨシノキシタバ *Catocala connexa* BUTLER

本種もブナ食のカトカラである。成虫はゴマシオキシタバに比べて少ないようで、県内においては一晚2～3頭採集できれば良いほうであろうか。幾分、前種のゴマシエキシタバに似ており同時期に得られるので、少々同定眼がないとみんなゴマシオに見えてしまう。発生は7月～9月。白峰村・尾口村にて成虫採集されている。

白峰村市瀬:2♂♂ 8-VIII-1980(野中*1), 1♀ 7-VIII-1981(金子), 1♂ 18-VIII-1981(野中), 1♂ 30-VIII-1981(野中), 5♀♀ 5-IX-1981(野中), 2♂♂ 5-IX-1981(嵯峨井), 1♀ 14-IX-1981(金子), 2♀♀ 18-IX-1981(金子), 2♀♀ 19-IX-1981(野中), 1♀ 19-IX-1981(嵯峨井), 4♂♂1♀ 26-IX-1981(嵯峨井), 2♂♂1♀ 15-IX-1982(嵯峨井), 1♂ 27-VIII-1983(嵯峨井):白峰村釈迦林道:1♂ 30-VIII-1981(嵯峨井), 1♂2♀♀ 5-IX-1982(嵯峨井), 5♂♂3♀♀ 13-IX-1982(嵯峨井):白峰村白峰:1♀ 25-IX-1981(嵯峨井), 2♀♀ 15-IX-1982(嵯峨井), 1ex 18-IX-1982(吉村*5):尾口村尾添:1♀ 22-IX-1982(嵯峨井):尾口村岩間:1♂ 21-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 30-VII-1983(野中), 1♀ 20-VIII-1983(嵯峨井), 1♂ 28-VII-1984(野中), 1♀ 28-VII-1984(嵯峨井), 1♀ 31-VII-1984(嵯峨井), 1♂ 1-VIII-1984(嵯峨井), 1♂1♀ 7-VIII-1984(嵯峨井), 1♀ 17-VIII-1984(嵯峨井), 1♂ 18-VIII-1984(嵯峨井), 1♂ 31-VIII-1984(嵯峨井), 1♀ 1-IX-1984(嵯峨井):吉野谷村中宮温泉:1♂ 28-VIII-1982(嵯峨井), 2♂♂ 18-VIII-1982(金子), 1♀ 15-VIII-1984(野中):吉野谷村蛇谷:1♂ 14-VIII-1983(嵯峨井)

13. アミメキシタバ *Catocala hyperconnexa* SUGI

石川県において、比較的採集が難しい部類に属する種。ゴマシオキシタバ・ヨシノキシタバに良く似るため、ゴマシオが多数トラップに集まった時には見逃す恐れがあるので注意が必要。発生は7～8月と見られるが、県内での採集例はナマリキシタバよりも少ないことから言明できない。カシ類の多い加賀市・山中町辺りで多産するかもしれないが、詳細は不明。

尾口村岩間:1♂ 30-VII-1983(野中), 1♀ 31-VII-1983(嵯峨井), 1♂ 20-VIII-1983(嵯峨井):尾口村目附谷:1♂ 12-VIII-1983(吉村*5):白峰村市瀬:1ex 1-IX-1983(吉村*8)

14. キシタバ *Catocala patala* FELDER & ROGENHOFER

本種は黄色系カトカラの最美麗種。なぜか誰の標本箱を見てもせいぜい2～3頭しか並べられていない。その理由は図体が大きいため、何時でも容易に得られるが為に採集しないのであろうか。食樹はフジ。発生は7月下旬～8月中旬頃。成虫はごく普通に得られる。金沢市・津幡町・鶴来町・尾口村・吉野谷村・白峰村等で成虫が採集または目撃確認されている。

金沢市医王山:2♂♂ 5-VIII-1980(野中*1), 1♂ 24-VII-1981(金子), 3♂♂1♀ 29-VIII-1981(嵯峨井), 2♂♂4♀♀ 5-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 17-VII-1982(嵯峨井):金沢市俵:1♂ 17-VII-1982(嵯峨井):金沢市戸室新保:1♂1♀ 5-IX-1981(嵯峨井):金沢市窪:1♂ 17-VII-1982(嵯峨井):金沢市四坊高坂:1♂ 17-VII-1982(嵯峨井):津幡町倶利伽羅:1♂ 13-VII-1982(金子), 1♂ 17-VII-1982(嵯峨井):白峰村市瀬:5exs 8-VIII-1980(野中*1), 1♂ 26-VII-1989(野中), 1♂ 29-VIII-1981(金子), 1♂ 18-IX-1981(金子), 1♂2♀♀ 22-VIII-1982(金子):白峰村白峰:1ex 3-IX-1982(吉村*5), 1ex 1-IX-1983(吉村*8), 1ex 5-IX-1983(吉村*8):尾口村岩間:1♀ 30-VII-1982(野中), 1♀ 31-VII-1984(嵯峨井):吉野谷村中宮:1♂1♀ 27-IX-1982(金子)

15. コガタキシタバ *Catocala preagnax* WALKER

成虫は金沢市・津幡町・尾口村・白峰村等で得られている。発生期は6月～7月中旬頃。食樹はマメ科のフジ・ハギ等といわれている。

金沢市医王山:1♀ 31-VII-1981(野中), 2♂♂ 10-VII-1983(嵯峨井), 1♂ 12-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 15-VII-1984(嵯峨井):津幡町倶利伽羅:4♂♂ 10-VII-1983(野中), 2♂♂ 9-VII-1983(嵯峨井), 1♀ 13-VII-1982(金子):尾口村岩間:1♂ 14-VIII-1982(野中), 1♂ 31-VII-1984(嵯峨井), 1♂ 1-VIII-1984(嵯峨井), 1♀ 21-VIII-1984(嵯峨井)

16. ワモンキシタバ *Catocala fulminea* SCOPOLI

本種は他のキシタバ類には見られない一種独特の斑紋を現出し、前翅の外横線が腎状紋下方にまで食い込んだ斑紋形状から、このような和名が与えられたものと思われる。食樹はスモモ・ウメ・アンズ・サンザシ等といわれ、人家周辺の林縁に産するようである。成虫は灯火採集により7～8月に得られているが、採集個体は汚損したものが多く発生は少し早いものと思われる。新鮮な個体が灯火に来ないのは、他の種にもみられるがなぜだろうか。

津幡町倶利伽羅:1♂ 12-VII-1982(金子):吉野谷村中宮温泉:1♂ 26-VII-1982(金子), 1♀ 13-VIII-1982(野中), 1♀ 13-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 21-VIII-1982(嵯峨井):吉野谷村蛇谷:1♀ 14-VIII-1983(嵯峨井):尾口村岩間:1♂ 20-VIII-1983(嵯峨井), 1♂ 28-VII-1984(野中), 1♂ 28-VII-1984(嵯峨井), 1♀ 31-VII-1984(嵯峨井)

17. ミヤマキシタバ *Catocala ella* BUTLER



本種はキシタバ類の中でも比較的珍品の部類に属し、前翅後翅ともに格調高いその風格は、カトカラ中人氣最右翼に位置しよう。全国的観点から産地は極限、多数を得たという記録はあまりないふうにみうけられる

が、1983年(*17) に植樹がハンノキと判明したことから、今後かなり記録が期待されるものと思われる。本種の黒化異常型がいくつか報告されているが、筆者採集品(尾口村岩間産)にも幾分黄色帯が細く感じられるもの1個体含まれている。県内では白峰村・尾口村・吉野谷村等で成虫が得られている。

白峰村釈迦林道:1♂ 5-IX-1981(野中), 2♂♂1♀ 21-VIII-1983(野中), 1♀ 21-VIII-1983(嵯峨井), 1♂ 27-VIII-1983(野中), 1♂1♀ 26-VIII-1984(野中):白峰村市瀬:1♀ 14-IX-1981(金子), 2♂♂ 29-VIII-1982(野中), 2♂♂1♀ 29-VIII-1982(嵯峨井), 1♀ 31-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 31-VIII-1982(金子):白峰村白峰:1♀ 6-VIII-1982(嵯峨井), 1 ex 3-IX-1982(吉村*5):吉野谷村中宮:2♂♂ 28-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 29-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 18-IX-1982(金子):尾口村岩間:1♂ 14-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 30-VII-1983(野中), 1♀ 30-VII-1983(嵯峨井), 1♂ 3-VIII-1983(嵯峨井), 1♂ 12-VIII-1983(嵯峨井), 1♂ 31-VII-1984(嵯峨井), 1♂ 31-VII-1984(嵯峨井), 1♀ 1-VIII-1984(嵯峨井)

18. ジョナスキシタバ *Catocala jonasii* BUTLER

比較的近年に食樹が判明した種で、当時の「月刊むし」(*13, 14) には毎号のようにジョナスキシタバのことが書いてある。食樹はケヤキ。県内では金沢市・白峰村・尾口村等で成虫が得られる。白山山麓では8~9月にかけて採集できるが、金沢市医王山では7月始めにはもうナイターに飛来する。他種にはない独特の斑紋を形成していて同定は容易である。

金沢市末:1♂ 9-IX-1979(金子):金沢市医王山:1♂ 5-VIII-1980(野中*1), 1♀ 12-VIII-1980(野中), 1♂ 15-VII-1982(嵯峨井), 4♂♂3♀♀ 10-VII-1983(嵯峨井),

1♂ 15-VIII-1984(嵯峨井):白峰村市瀬:6♂♂1♀ 5-IX-1981(野中), 2♂♂1♀ 14-IX-1981(金子), 1ex 3-IX-1982(吉村*5), 1♂ 5-IX-1982(嵯峨井), 2exs 18-IX-1982(吉村*5), 4♂♂2♀♀ 20-IX-1981(嵯峨井), 1♂ 22-IX-1981(嵯峨井):白峰村白峰:1ex 3-IX-1982(吉村*5), 2♂♂1♀ 15-IX-1982(嵯峨井), 1♂1♀ 18-IX-1982(嵯峨井):白峰村釈迦林道:1♂ 5-IX-1982(嵯峨井):尾口村岩間:1♂ 30-VII-1983(野中), 1♂ 21-VIII-1982(嵯峨井):吉野谷村中宮:1♂ 22-VIII-1982(金子), 1♂2♀♀ 18-IX-1982(金子):尾口村尾添:1♂ 22-IX-1982(嵯峨井)

19. ナマリキシタバ *Catocala columbina* LEECH

日本産カトカラのうち、前翅が鉛色に光る金属光沢を有する唯一の種である。人によってはミヤマキシタバより、本種の方が格調高さにかけてはひけをとらないと異議を唱える方もおられよう。幾分小型で飛翔中の姿は黄色が目につかず黒っぽいので、採集するには目の悪い筆者には苦手の種である。発見の経緯については既に報告済み(*4)であり、今のところ尾口村・吉野谷村・白峰村で採集されている。食樹は他県の産地のように「イワシモツケ」と想像されるが、野中氏らの労はまだ報われていない。成虫は8月上旬～中旬に得られている。



つかず黒っぽいので、採集するには目の悪い筆者には苦手の種である。発見の経緯については既に報告済み(*4)であり、今のところ尾口村・吉野谷村・白峰村で採集されている。食樹は他県の産地のように「イワシモツケ」と想像されるが、野中氏らの労はまだ報われていない。成虫は8月上旬～中旬に得られている。

尾口村目附谷:1♀ 13-VIII-1982(嵯峨井), 2♂♂ 5-VIII-1983(金子):尾口村岩間:1♀ 14-VIII-1982(野中*4), 1♂ 14-VIII-1982(嵯峨井), 1♂ 28-VII-1984(野中), 5♂♂ 17-VIII-1984(嵯峨井), 4♂♂ 18-VIII-1984(嵯峨井):吉野谷村蛇谷:2♂♂ 14-VIII-1983(野中):白峰村釈迦林道:1♂ 22-VIII-1982(嵯峨井*4)

20. ノコメキシタバ *Catocala bella* BUTLER

高原性のカトカラで、まだ2頭しか採集されていない県内最稀種である。県内における生態等は全く不明。

白峰村市瀬:1ex 18-IX-1981(金子*6):尾口村一里野:1♀ 10-VIII-1985(野中*9)

あとがき

本報告は数年前に草したもので、野中 勝、金子二久両氏に依頼し筆者の拙文に目を通していただき、一部加筆修正助言等をしていただいたものであるにもかかわらず、諸般の事情から投稿が遅れてしまった。また、賛助協力の3氏の厚意にもかかわらず、報告発表が当初予定より2年半も遅れてしまった。以上の方々に筆者の怠慢からきた失礼をお詫び申し上げます。

参考文献

- * 1 野中 勝(1980) カトカラ狂い 翔 NO.18 P7
- * 2 野中 勝(1982) カトカラ狂い:PARTII 翔 NO.26 P6
- * 3 野中 勝(1982) 石川県にてアサマキシタバを採集 翔 NO.34 P1
- * 4 嵯峨井淳郎(1982) 石川県にてナマリキシタバを採集す 翔 NO.34 P1
- * 5 吉村久貴(1983) 初体験 Catocala 採集行 翔 NO.39 P7
- * 6 金子二久(1984) ノコメがあった 翔 NO.44 P5
- * 7 吉村久貴(1984) 津幡町で Catocala 3種を採集 翔 NO.44 P5
- * 8 吉村久貴(1984) 白峰村市瀬にてアミメキシタバを採集 翔 NO.46 P1
- * 9 野中 勝(1985) 一里野でノコメキシタバを採集 翔 NO.54 P1
- * 10 杉 繁郎・他(1982) 日本産蛾類大図鑑 講談社
- * 11 杉 繁郎(1971) 日本のCatocala その自然誌的展望 第1回
月刊むし 1971. 6 (NO.3)
- * 12 杉 繁郎(1971) 日本のCatocala その自然誌的展望 第2回
月刊むし 1971. 8 (NO.5)
- * 13 中臣謙太郎(1971) 虫屋の広場・蛾界(ついに発見されたジョナスキタバの幼虫)
月刊むし 1971. 9 (NO.6)
- * 14 佐藤力夫(1971) 虫屋の広場・蛾界(々々から発見した幼虫がジョナスキタバとわかるまで)
月刊むし 1971.10(NO.7)
- * 15 杉 繁郎(1972) 日本のCatocala その自然誌的展望 第3回
月刊むし 1972. 3 (NO.12)
- * 16 杉 繁郎(1982) アズミキシタバ幼虫の発見 月刊むし1982. 8 (NO.138)
- * 17 堀江清史・古谷健二(1983) ミヤマキシタバの食樹解明
月刊むし 1983.11(NO.153)
- * 18 川島保夫・堀江清史(1983) フシキシタバの生態と飼育例
月刊むし 1983.11(NO.153)

と	ぶ	NO.63	1987年	5月18日	発行
編集・校正	嵯峨井淳郎・松井正人				
発行	金沢市大場町東871-15 松井方 百万石蝶談会				
郵便番号	920-01	電話	0762(58)2727	振替金沢	5-562